

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス スーペリア</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.055</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ナノデス スーペリア**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

番

**比較対照ボール：アキュライン・プレミアム2015**

フレアーの幅  インチ

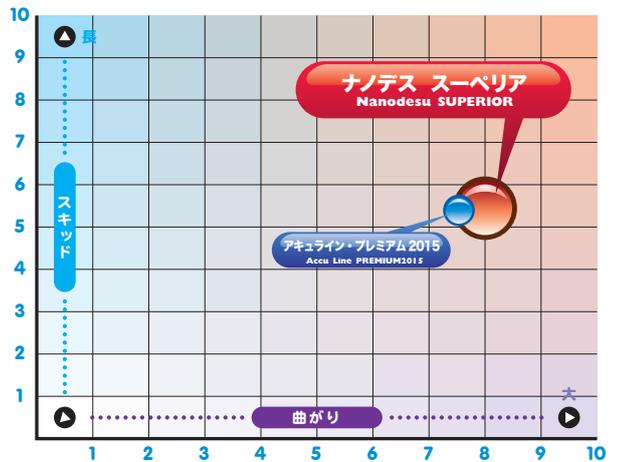
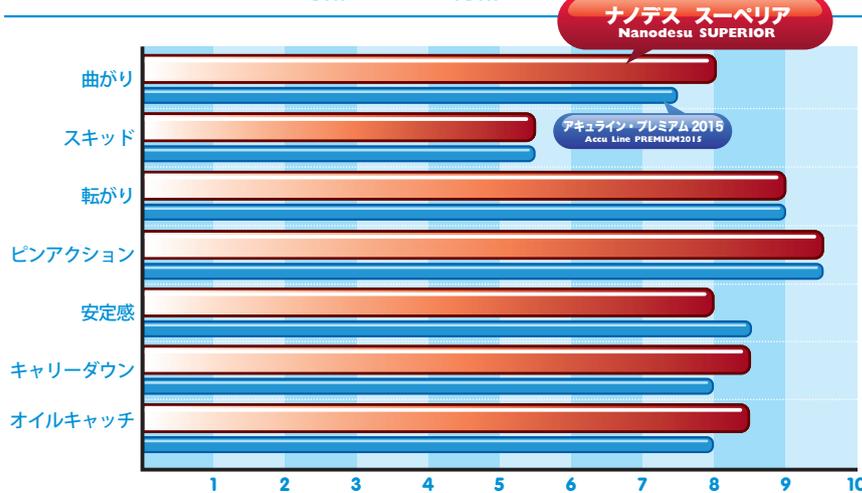
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  
**5** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

国産のボールは匠な製法だけではなく、つねに高い想像力と探究心を持っているといっても良いでしょう。今回のNanodesu SUPERIORも新しいTechnologyが組み込まれています。業界初ともいえる新しいTechnologyの一つに、ナノデスに必須とも言えるピンアクションをさらに向上させるためにInnershellを2層にして作り上げているのがSUPERIORの重要な項目です。4層構造からなるSUPERIORはCoverstockの厚さは7mmにして高度の違うInnershell2層構造を採用しています。それが何を意味するかというと、今までInnershell1層とCoreで国産独自の衝撃吸収システムで無二のピンアクションを実現させてきましたが、その衝撃吸収に合わせInnershellをもう一層増やして2層目との高度の差をつけることで新たに衝撃を吸収させようとしているのが、第2の衝撃吸収システムです。そうすることでよりピンの衝撃は吸収され低く押し込むようにアクションを起こします。テストングの結果はまず今までに採用されたことのないピンクが基調のバスターピンクという淡い配色であるということ。その淡い配色もあって、強めのCoverstockで構成されていますが、クリーンな走りが見られるイメージがあります。実際Accu-Roll4との比較でもSUPERIORのほうがボール二つ分は軽くスキッドすると思います。その分Backendでシャープな動きが得られるのもSUPERIOR(上位・上級)のイメージが漂います。慣性が低い新しいCoreは手から放たれた瞬間から転がり、淡いピンクのボールが走ってキレル。一連の流れをピンアクションまで表現すると「爽快かつ強烈」という言葉に似合います。このSUPERIORは現在シリーズ化されているAccu-Rollとは一線を介す限定個数のSpecialなスペックです。製法が特殊なために限定での発売です。

### 特記事項

**特殊製法を用いたSUPERIORは走ってキレル、Mediumを中心に使用できるボールです。限定個数の販売のため、即日完売のおそれがあります。オーダーはお早めに。**